

絆

赤井むつみ後援会便り第7号

2010年8月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



初めての一般質問

6月15日 第2回定例議会で、初めて一般質問をさせていただきました。

- ① パスポートの業務委託について
 - ② 「人権尊重の町」を宣言しては？
 - ③ 協働のまちづくりの具体的な推進方法は？
- ① パスポートは今まで渡島振興局（旧渡島支庁）まで、申請と受取で2度行かなければもらえませんでした。お隣のせたな町や今金町を初め、全道で37の市町が自分の町で発行することができています。八雲町も町民サービスの一環として、発行業務を行っても良いのではないのでしょうか？
- 《町長》
- ICチップの読み取りの機械などの初期投資や保守料など、どの程度の費用がかかるのかを、調べた上で、是非、近いうちに実現したいと思います。
- ② 人権に対する研修会や指導をしても、虐待やいじめはなかなか減りません。立場の弱い人はもちろん、みんなが安心して暮らせるように、そして、生きるための基本となるよう『人権尊重のまち』を宣言し、広く町民の皆様にご理解・ご協力をいただければ、いかがでしょうか？
- 《町長》
- 病院や老人福祉施設、学校などで、関係スタッフが研修・実践を行っており、児童生徒にも、道徳や総合学習の時間を通じて伝えています。他の自治体でも、そうした宣言をしているところがあるかどうか調べた上で、八雲町でも検討したいと思います。
- ③ 新八雲町総合計画のキーワードは『協働のまちづくり』で、4月から施行された八雲町自治基本条例も協働のまちづくりを謳っていますが、具体的に、町民や町職員の参加の仕方は、どのように考えていますか？
- 《町長》
- 職員が中心になるのではなく、町民との協働の中で職員の技術やノウハウ

を生かせるように、積極的に参加することが望ましいので、今後、「八雲町協働のまちづくり推進プラン」を、作り上げる予定です。策定委員は、町民の公募を行い、その意見を聞きながら具体的に進めて行きたいと考えています。

以上、3つの質問《提案》をさせていただき、その他に4本の意見書を提出しました。どちらも初めてということで、緊張もしましたし、思うように伝えられなかったところもありましたが、準備する段階でいろいろな方たちにお聞きし、たくさんのご意見をいただいたことが、自分にとっては何より勉強になったと心から感謝しております。本当にありがとうございました！

ただ今、勉強中です！

前回、障がいのある方たちも、笑顔で安心してすごせるまちづくりに向けて勉強中です！と書きましたが、たくさんの方達のお力をお借りしながら、順調に話し合いが進み、少しずつ方向性が見えてきました。

話し合いを通してわかったことは、

- ① 八雲町には障がいを持った方が働ける場所が少なく、高等養護学校から、職業体験に来たくても、受け入れてくれる職場が少ない。
- ② 企業側も、受け入れる気持ちが全くないわけではないが、障がいに対する理解が乏しく、対応に不安があるため、消極的になっている。
- ③ 需要者と供給者が、直接話し合う場がなかったため、『障がい』に対する理解が、なかなか進まずにいる。
- ④ 核家族化が進み、『子育て』は、親だけでは大変難しい状況になっているため、障がいの有無にかかわらず、子育て家族を地域全体で支える必要があることを痛感。そのために、お互いに情報発信することが必要。
- ⑤ 子どもに関してや、障がいに関して、いろいろな情報が知りたくても、何をどこに聞いていいのかわからないことが多いので、ここに聞いたら全てがわかるという、情報センターのようなところがあるととても助かる。

以上のようなことがはっきりしてきました。

これらの多くは、話し合いと情報交換、専門家によるアドバイスなどがあると、すぐに解決・実践できることですので、すぐにでも実行して行こうと思っています。ただ、こうした問題は、当事者でなければわからないことではありますが、言われてみれば・・・ということばかりで、『情報交換』の大切さ、情報交換の場所の必要性を実感しました。

きっと、皆様の生活の中でも、もう少しこうなってくれたら・・・ということもたくさんあると思います。是非、そのことを遠慮なく声に出してください。特に私は鈍感ですので、どんどん発信してくださるととても助かります。そして、そのことをいろいろな方たちと話し合うことで、良い解決方法が必ず見つかります。是非、みんなで支えあって、笑顔で過ごせるまちづくりを、実践しましょう！ご協力をよろしくお願いいたします。

質問コーナー Q&A

Q1, 実家(町外)の母が抗がん剤治療のため、八雲総合病院に通っています。体力がないので、その日のうちには帰れず2泊3日の入院をしています。しかし、実家が酪農業のため、冬場は何とか通えても、夏はとても大変です。抗がん剤治療だけのために入院は出来ないといわれましたが、このままでは、家族も倒れてしまいます。何とかいい方法はないでしょうか？

A1, 総合病院の医事課にお聞きしました。

抗がん剤治療のための入院(退院できないような状態の方)はあります。しかし、この方の病状から、当院では長期入院には該当しないと思いますが、八雲までの通院が大変であれば、地元の病院を紹介することができます。(長期入院の相談ができます)

そして、採血だけ地元の病院で行い、2泊3日の入院を八雲で続けるということもできるので、希望があれば教えてください。(その場合、八雲まで地元の病院のスタッフが付き添ってくれます)

また、抗がん剤治療で精神的に不安定になっている場合は、外科に入院し、精神科医師の診察を受けることになります。どちらにしても、本人の様子と、ご家族のお話の内容をお医者さんに伝え、最終判断をしていただきますよう。とのことでした。病院がこのように親切丁寧に教えてくださるということを知り、とても感動しました。困ったときは遠慮なく病院に相談することが1番ですね！(本当に親切でしたよ！)

Q2, 今、自分の子どもは高等養護学校に行っています。卒業したら、八雲に戻ってきてもらいたいのですが、八雲では働く場所がありません。何とかならないでしょうか？

A2, 本当にその通りですね。私の息子も高校3年生ですので、お気持ちはよくわかります。残念ながら八雲町には、就労継続支援事業やグループホームはありません。町が自ら作る予定はありませんが、民間で何とか取り組みたいというグループが出来て学習を始めています。(私もそのメンバーです)ですから、是非、ご一緒に活動をお願いいたします。いくら私たちが頑張っても、実情をよく知っている本人やご家族の方の意見をお聞きしないで進めては全く意味がありません。是非、一緒に話し合い、学びあいながら、より良いも

のを作り上げていきましょう。八雲町は、自然環境にも恵まれ、子育てに最適な町ですので、障がいがあるなしにかかわらず、大人が子ども達を温かく育み、お互いに支えあって、心豊かに過ごすのが一番だと思います。そうなるためにも、まず、私自身がしっかりと勉強し、そのことを少しずつ広げていけるように精一杯努力しますので、是非、ご協力をお願いいたします。

活動あれこれ

- ☆ 6月15日（火）～17日（木） 第2回定例議会
- ☆ 6月26日（土） 全国フエミニスト議員連盟夏合宿の話し合いに参加（函館）
- 6月26日（土） 子どもの権利条約について学習会（函館）
- ☆ 6月26日（土） 障がいのある方の就職について、話し合い
- ☆ 7月 1日（木） 議員研修で札幌へ行ってきました！
- ☆ 7月2・3日（金・土） 山車行列に参加 お天気も何とか持ってくれて一安心。
マリア幼稚園と東町は『大賞!』をいただきました。ありがとうございます！
（山車行列は、町民皆様のいろいろな力が結集されて成り立っています）
- ☆ 7月10日（土） 消防の渡島大会に参列
- ☆ 7月14日（水） 渡島の林業活性化議員団の研修会に参加（厚沢部）
- ☆ 7月15日（木） 障がいのある方の働く施設について、話し合い
- ☆ 7月20日（火） 広報委員（議会だより 8月号作成にあたって）
- ☆ 7月22日（木） 総務委員会（八雲町債権管理に関する条例）
- ☆ 7月23日（金） 広報委員会（議会だより8月号作成&ホームページについて）
- ☆ 8月 2日（月） 総務委員会（八雲町債権管理に関する条例）
- ☆ 8月 4日（水） 第4回臨時議会・財政健全化調査特別委員会



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=090-8909-5580（佐藤）